

耐塩害塗装仕上げ

木製ガードレール 歩道用木製防護柵

こかけ
木景



海沿いなど 塩害の影響がある地域への設置に適した仕様

01 耐食性の向上

支柱、接続金物、ボルト類、全て溶融亜鉛メッキの上に耐食性、耐電食性に優れたラスパート®処理（ダークブラウン塗装）を行う事で塩害地域等での使用にも対応した仕様で、木製ガードレール及び歩道用木製防護柵どちらも作成できます。

02 景観性の向上

標準仕様の木製ガードレール木景の接続金物及びボルト類が溶融亜鉛メッキ仕上げなのに対し耐塩害塗装仕上げでは全てダークブラウン色（汎用品支柱の茶色とほぼ同色）になり、より景観性に優れます。 ※歩道用木製防護柵は標準使用も接続金物はダークブラウン色です。



標準仕様



耐塩害塗装仕上げ

03 塩水噴霧試験

中性塩水噴霧試験 2016 時間の結果、溶融亜鉛メッキ + ラスパート® 処理で赤錆は確認されませんでした。

JIS Z 2371 に基づく中性塩水噴霧試験（2016 時間）

試験体	赤錆が確認された時間
溶融亜鉛メッキ (HDZT35)	144時間
溶融亜鉛アルミ合金メッキ	1920時間
溶融亜鉛メッキ+ラスパート®処理	-

04 分厚いメッキ下地 支柱塗装下地 溶融亜鉛メッキの付着量は、汎用品支柱の 2 倍。

部材	溶融亜鉛メッキ		
	JIS規格	膜厚(μm)	付着量(g/m2)
木製ガードレール木景 接続金物 (ラスパート®下地)	HDZT63	63以上	450以上
木製ガードレール木景 支柱 (ラスパート®下地)	HDZT77	77以上	550以上
汎用品ガードレール支柱 (塗装仕上げ下地)	Z27	38.5以上	275以上

2倍